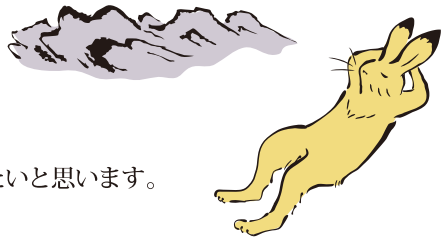
令和元年度 福島県自殺対策緊急強化基金事業

Future From Fukushima.
ふくしまから はじめよう。

第1回 グリーフケア講演会
「それでも、生きる」を胸に

私たちは、悲しみや苦しみを避けて通ることはできません。
病や老い、死別、リストラ、家庭の不和、人間関係のこじれ、災害、経済的な困窮など、
そのような出来事に出遭ったとしても、「それでも、生きる」と前を向きたいものです。
参加される方々に、「自らの命には大きな意味がある」ことを確認する時と場を提供したいと思います。



日時 令和元年 11月24日［日］ 10時～12時頃

定員 90名程度 事前申込み　**参加費** 無料

会場 郡山市中央公民館 5・6・7講義室

申込み ホームページまたはメールでお申込みください。
悲しみを佛の智慧に学ぶ会HP ＞ 考える場を持ちませんか ＞ 講演会
［URL］https://chie.or.jp/lecture/
［Mail］k@chie.or.jp

【プログラム】

開始 10:00 一般社団法人 悲しみを佛の智慧に学ぶ会の活動について

10:05 講演
悲しみの中にあってもそれでも生きる
髙木慶子先生
東日本大震災以降、被災地に足を運び支援を続けてきた経験と、長年グリーフワークに携わってきた中で、「それでも、生きる」と前を向くことができた人についてお話いただきます。

11:05 講演
夫との死別後に開けた世界
荒木昌子先生
37歳で夫と死別。ひとり息子を抱えながらグリーフケアを学び、上智大学グリーフケア研究所認定臨床傾聴士を取得。死別の悲しみを持つ人々に向き合う活動をお話いただきます。

11:25 シンポジウム
「それでも、生きる」を胸に
福島県のグリーフケアの先駆者である、福島れんげの会理事長 金子久美子先生に加わっていただき、～「それでも、生きる」を胸に～について深めます。

12:00 終了予定

【講師プロフィール】

髙木慶子
上智大学グリーフケア研究所特任所長
「生と死を考える会全国協議会」会長
日本スピリチュアルケア学会理事長
援助修道会会員
著書として、『「ありがとう」といって死のう』（幻冬舎）、『それでも誰かが支えてくれる』（大和書房） 他

荒木昌子
グッドグリーフ・ネットワーク ファシリテーター
一般社団法人The Egg Tree House ファシリテーター
女性のためのグリーフケア札幌 アドバイザー

金子久美子
特定非営利活動法人
グリーフサポートセンター福島れんげの会理事長
全国自死遺族総合支援センター理事
福島ゲートキーパー連携センター副代表

大童法慧
一般社団法人 悲しみを佛の智慧に学ぶ会代表理事
著書として、『「そのままのあなた」からはじめる『修証義』入門～生死の問いを31節に学ぶ～』（雄山閣） 他

一般社団法人
悲しみを佛の智慧に学ぶ会
～常懐悲観 心遂醒悟～
［URL］https://chie.or.jp　［Mail］k@chie.or.jp

後援　福島県、郡山市、郡山市教育委員会、テレビユー福島、福島放送、福島中央テレビ、福島民報社、郡山女子大学